

OPEN クラス競技規定

一般

- ・ フライトはすべて選手個人の責任において行うこと。
- ・ フライトは使用機材の運用限界内で行うこと。
- ・ 参加選手は、安全なヘルメット、120 日以内にリパックしたレスキューパラシュート、ハーネスからのパイロット脱落防止装置を装備しなければならない。
- ・ 使用機体は期間中変更できない。但し破損した場合には競技委員長の許可を得て変更できる。
- ・ 選手は心身ともに競技できる健全な状態でなければ競技してはならない。
- ・ フライトに支障をきたす薬物やアルコールを摂取してのフライトをしてはならない。
- ・ 競技委員長に安全なフライトは無理と判断された場合、フライトを制限されることがある。
- ・ 水以外のいかなる物品も投下してはならない。
- ・ 航空法を厳守すること。
- ・ 参加選手はフライトをしたか、しないかにかかわらず毎日安全確認の報告を決められた時間までに行うこと。
- ・ 大会規則に違反した選手あるいは役員の指示に従わない選手は警告を与える。警告を与えられた者は何らかのペナルティーを与えられる。二回以上警告を受けた選手は大会失格とする。
- ・ 重大な危険行為をした選手及び不正を働いた選手はその時点で大会失格とする。
- ・ 他人に迷惑をかける行為を行った選手は、大会失格とする場合がある。

年間ポイント

- ・ ポイント獲得: 各大会の最終獲得点数のうち、1 位の選手の獲得点数を 1000 ポイントに換算し、その比率で各選手の獲得点数を換算した点数を獲得ポイントとする (獲得ポイント = $P2/P1 \times 1000$ P1: 1 位の獲得点数 P2: 本人の獲得点数)
- ・ ポイント計算: その年度で成立したタスクの中から、下の基準に応じた本数だけ合計したものを年間の得点とする。
その年度で成立したタスクが 1 本…1 本計上
その年度で成立したタスクが 4 本未満…2 本計上
その年度で成立したタスクが 7 本未満…3 本計上
その年度で成立したタスクが 7 本以上…4 本計上
例 大会1 DAY1 DAY2 DAY3 大会2 DAY1 DAY2 DAY3
500 点 不成立 700 点 600 点 400 点 不成立
の場合、成立したタスクは、4 本なので 3 本の得点を計上。つまり、
 $500 + 700 + 600 = 1800$ 点が年間ポイントとなる。
- ・ 年間チャンピオン表彰: 1st・2nd・Open とも年間チャンピオンは最終戦で表彰する
- ・ 団体の得点: 団体戦概要に載せる
- ・ 団体優勝: 団体優勝サークルには最終戦で団体戦優勝旗を授与する

1.受付

受付は、大会スケジュールの時間に従って、大会本部にて行う。受付時間に遅れたものは、その日のフライトは棄権したものとみなす。

2.タスク

基本的にソアリングを禁止したタスクとする。なお、タスクの決定はエリアにより、大会競技委員長の判断による。当日、タスクの変更は認められない。

・講習バーンによるL/D競争

3.フライトの成立、大会の成立

(1)フライトの成立

そのフライトに参加の意思表示をした選手全員がフライトを行えた場合。

(2)大会の成立

大会の成立のための最低フライト本数は一本とする。

4.競技の中止

いったん競技が開始されても気象条件の急変等により、その競技を中止する場合がある。その場合フライト中の選手には公式無線により知らせる。フライト中の選手は速やかに安全にランディングすること。

5.競技時間

選手はゲートオープンタイム内にテイクオフし、定められた時間までに競技終了報告をしなければならない。

6.テイクオフ

テイクオフの順番は、ゼッケン順とする。

6. リフライト

リフライトは何度してもよいが、リフライトする選手はリフライトの前にリフライト申告をすること。全フライトの得点を累積した得点をその日の得点とする。

7.ランディング

ランディング場は地図に示したエリアをいう。指定のランディング場に着地した場合をインサイドランディング、それ以外をアウトサイドランディングとする。アウトサイドランディングした場合はエリアルールに従うこと。アウトサイドランディングは、得点対象外とする。

8.タスククローズ

タスククローズ時間は、ブリーフィングの時に発表される。

得点計測はこの時間までとする。

9.競技終了報告(ランディング報告)

当日受付した選手はフライト、ノーフライトのいかんに関わらず、大会本部に直接報告しなければならない。指定された時間までに連絡がない場合は、そのフライトを失格とする。やむをえない場合のみ電話での連絡もみとめる。(無線での連絡も受け付けるが、連絡した場合は必ず大会役員の了解をもらうこと。一方的に連絡して無線をきった場合はその連絡を無効とする。)

10.競技

競技説明

講習バーンによるL/D競争(ターゲット競技禁止エリアの場合)

11.得点計測

- ・計測は大会役員が行う。
- ・危険なランディング(ケツランなど)を行った場合、ペナルティーとしてそのフライトの得点を半分にする。
- ・危険なランディングであるとの判断は、ランディングのインストラクターが行う。
- ・高高度フライトの場合、ランディングのインストラクターが危険と判断した場合、誘導される場合がある。

誘導された場合、以下のとおりのペナルティーがつく。

- ・誘導を無視した場合、そのフライトは失格とする。
- ・無線トラブルの際はそのフライトを無効とする。(成立本数が1本の場合、ノーフライト扱いとする。)

12.得点計算

X : 個人得点

x : 個人の累積得点

x_{\max} : その日の最高累積得点

$$X = 1000 \times x / x_{\max}$$